

ほんのとも



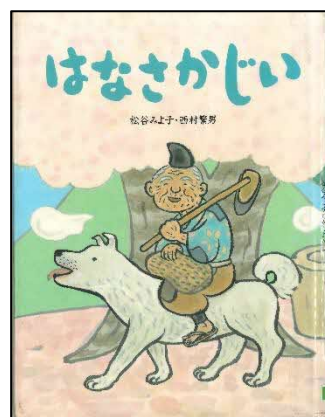
ひらかたしりつ ちゅうおうとしょかん 2025
こどものフロアだより 4 がつ

こんげつのとくしゅうは

◆◆◆にほんの むかしばなし◆◆◆

はなさかじい

松谷 みよ子／作 西村 繁男／絵
童心社 えほん-ミドリ-ニシ



「むかしあるところに、びんぼうなじいさまとばあさまがいた。」
日本のむかしばなしでよく知られる「はなさかじい」。この本では、
ばあさまが川上から流れてきた白いこぼこをかかえ、家にもどる
ところからはなしがはじまります。

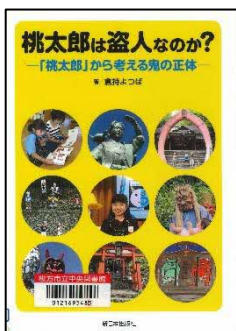
ももたろう めすっと 桃太郎は盗人なのか？

ももたろう かんが おに しょうたい
「桃太郎」から考える鬼の正体

倉持 よつば／著

新日本出版社 388

「ももたろうはなんで鬼ヶ島へ行っ
たの？」「悪者だからって殺しちゃ
ってもいいの？」「そもそも鬼って
本当に悪者なの？」・・・気になっ
たので調べてみました。図書館に
ある絵本から尋常小学校読本、江
戸時代の赤本まで 200冊以上の
本を読んでたどり着いた結論
は？

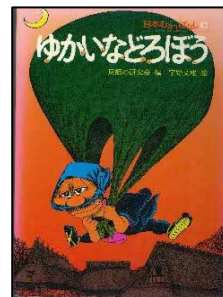


小学校中学年から
中学生に！

ゆかいなどろぼう

民話の研究会／編 宇野 文雄／絵
ポプラ社 みんわ-ニホン

かしこいどろぼうや お
っちょこちよいのどろぼ
う。みんなにくめないところ
があって ふつうにくら
しているひとびとに とけ
こんでいます。そんなおは
なしが 13話のっていま
す。



ひらかたしりつちゅうおうとしょかん
枚方市立中央図書館 電話:050-7105-8121 ファクス:072-851-0962

〒573-1159 枚方市車塚2丁目1-1

よ 読みたくなったらこちらから⇒

2階こどものフロア 開館時間: 午前9時30分～午後7時(土日祝は午後5時)

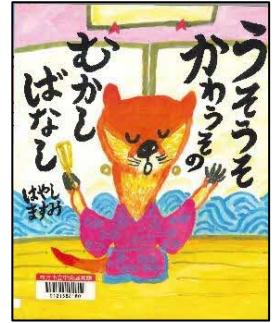


スマホ用

うそうそかわうその むかしばなし

はやし ますみ／さく
小学館 えほん-ハヤ

ものしり^が顔のかわうそが、まことしやかに しゃべりだします。ほんとうみたいな うそのおはなしです。むかしは、はたらき者^{もの}だったという「なまけもの」のはなしや、赤い^{あか}のに「金魚^{きんぎょ}」といわれる名前の由来のおはなしなど、ダジャレがいっぱいの楽しいおはなしです。



セミ神さまのお告げ

宇梶 静江／古布絵制作・再話
福音館書店 えほん-ウカ

むかし、北の台地の上と下に村がありました。ある日“六代^{ひ ろくだい}の人の世を生きたおばあさん”が「2つの村は津波で流されてしまう」と、のどをふるわせながら歌で予言をしました。糸と布で紡がれた絵とともにアイヌの文化にふれることのできる絵本です。



いっきゅう 一休さん

杉山 亮／文 長野 ヒデ子／絵
小学館 えほん-ミドリ-ナカ

いっきゅう 一休さんは、とんちが とくいな おてらの こぞうさんです。こまったことを、とっさの うまい かんがえで きりぬけます。かしこく、あかるく、やさしい いっきゅう 一休さんの ゆかいな おはなしです。



かみ 神かくしレストラン

怪談レストラン編集委員会／編 松谷 みよ子／責任編集
かとう くみこ／絵 童心社

かみ 神かくしとは、人がとつぜんいなくなって、さがしても探しても見つからなくなってしまうこと。百年以上前、いわてけん むら 小さな女の子が神かくしにいました。女の子はひと晩のうちに、行けるはずのない東京の山で見つかったのです。

